

全国高等学校総合体育大会京都府予選及び京都府高校総体における  
新型コロナウイルス対策ガイドライン

京都府高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国及び京都府高等学校体育連盟から発出された、新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

1 大会運営全般について

- (1) 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する（会場主任が兼任）。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所と予め検討しておく。
- (3) 万が一感染が発生したときには、保健所からの要請に従い、感染拡大防止に協力する。
- (4) 消毒等感染防止に必要な物品は、本専門部が準備する。
- (5) 5/1～5/3の市部代表決定戦は全会場において、また、全日程で高校会場は無観客試合とする。

会場に入ることができるのは、顧問・コーチ・学校関係者・選手及び大会役員のみとし、報道関係者等は大会本部の許可を得るものとする。

5/8以降の府大会における公営体育館会場については、上位団体の指示により日程ごとに再度判断する。

- (6) チーム及び選手の参加可否は所属校長が判断する。

2 会場運営について

- (1) 試合間にゆとりを持たせ、選手・チーム関係者は原則完全入れ替えとする。審判、大会役員、TO・CKなど生徒補助員も最小限の人数で行う。TOの担当は大会スケジュール通り（京都府総体は別途設定、府大会 5/29 以降は指定TOの予定）とする。ハーフタイムアップはなしとする。
- (2) 会場はこまめに換気をする。
- (3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。TO・CKの椅子・用具等の消毒は、担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。
- (4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
- (5) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。

3 参加者について

- (1) 参加者は、常時マスクを着用する。試合中も、ベンチにいるときは体調に留意しながらできるだけマスクを着用する。TO・CKについてもマスク等、顔を覆うものを着用する。
- (2) アップ時の掛け声やで声を出しての応援は禁止する。（ベンチからの指示等は飛沫防止に十分配慮する。）試合前後または試合中の握手、ハイタッチなどの接触は避ける
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。昼

食時などマスクを外すときは、会話をしないように心がける。

- (4) 水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み直し等を行わないようにすること。
- (5) 接触確認アプリ（「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」若しくは「京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス こことろ」）を自身のスマートフォンにインストールすることを推奨する。
- (6) 参加者の行動記録の把握のため、以下の書類を準備すること。

①「健康チェックシート」（様式1） 参加者全員

大会前 2 週間における体温及び健康状態他必要事項を記入する。顧問がチーム関係者全員分（顧問・コーチ・学校関係者・選手・トレーナー）を番号順にまとめて提出する。大会役員が当日受付で記載内容を確認するとともに、当日体温を検温し記入した後、チームに返却する。

他団体の協力審判、チーム引率のない審判や大会役員、メディア関係者等については、審判委員長もしくは専門委員長にデータを送信するか、会場主任が当日携帯で写真をとるなどしてデータで保存してもよい。

②「健康チェック一覧表」（様式2） チーム関係のみ

試合 4 日前～試合当日の健康状態を各チーム顧問が記入し、大会本部に 1 部提出する。当日体温は受付で大会役員が検温し、記入する。少なくとも 3 ヶ月保管とする。

※様式はメール添付していますが、高体連HPからもダウンロードできるよう準備します。

個人情報大会本部に、また状況によっては保健所等に提出する可能性があることは、事前に保護者から同意を取っておいてください。

- (7) 各会場とも顧問は受付時に①②を提出する。選手は顧問の指導のもと、「健康チェック一覧表」（様式2）の順番に整列し、検温チェックを受けてからまとめて入館すること。

遅れてくる生徒がいるときは、その旨を大会役員に連絡する。到着次第、顧問が生徒とともに大会役員に報告してから入館させる。

※大会各会場でのタイムスケジュールは別紙参照【会場ごとに競技委員が作成、顧問に送付】

- (8) 試合会場及びその行き帰り等に複数で飲食しないこと。

- (9) 体調不良者への対応について

入館時の検温について、非接触式体温計で 2 度計測しても 37.5℃以上の場合は、電子体温計を用いてわきの下で検温し、それでも、37.5℃以上の場合は、体調不良者と判断します。該当者のチームは参加の辞退をお願いします。

新型コロナウイルス感染が疑われる体調不良への対応については、JBAガイドライン第 2 版 P12 を御参照ください。（以下抜粋）

**【体調不良の基準】**

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。

発症から数えて 2 日および症状消失後より数えて 3 日間は活動を休むことを推奨します。

**【上記の目安に該当する体調不良者がした場合のチーム活動について】**

発症の前日または前々日までチーム活動があった場合、体調不良者（陽性か陰性かが判断できない）と接触しているため、チーム活動を最低 2 日間行わないことを推奨します。

該当するチームは出場を辞退して下さい。

上記「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては勝ちチームに出場辞退をしていただく場合もあります。

#### 4 その他

- (1) 感染拡大やチーム参加状況により、大会途中でも大会中止とすることがあります。
- (2) 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。
- (3) 観戦応援にきてくださる学校関係者（管理職）も健康チェックシート（様式1）が必要です。もしくはそれに代わるものをご持参いただくようにしてください。
- (4) 記載内容については、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者に連絡し、遵守するようにしてください。今回、京都府高体連から発出された「共通対策ルール」も添付していますので、御確認下さい。
- (5) 試合4日前～試合当日において、感染または感染の疑いがある場合は、大会感染対策責任者（競技委員長（京都市立紫野高等学校 岩崎健太）、大会当日は会場主任）に御報告下さい。